## 学位論文審査の要旨

論 文 提 出 者	南哲至	4E
論文審査委員	(主 查)朝日大学歯学部 教授 北井 則行 (副 查)朝日大学歯学部 教授 藤下 昌己 (副 查)朝日大学歯学部 教授 髙井 良招	

論文題目

上顎前歯部の歯槽形態と顔軟組織形態との関係

## 論文審査の要旨

本論文は、上顎犬歯の低位唇側転位を伴う叢生が認められる患者の上顎中切歯部、側切歯部および犬歯部の上顎骨・顔軟組織形態を、高解像度 CT を用いて記録し、上顎歯槽形態と同部顔軟組織形態との間の関係を明らかにすることを目的としたものである。結果は以下のとおりであった.

上顎犬歯の低位唇側転位を伴う叢生が認められる患者では、上顎中切歯部、側切歯部および犬歯部いずれについても、歯軸が前方あるいは斜め 45 度前方(以下、側方と記す)へ傾斜するほど上顎骨唇側歯槽部も前方あるいは側方へ傾斜することが明らかになった。上顎中切歯部については、歯軸が前方へ傾斜するほど軟組織も前方へ傾斜することが明らかになった。上顎犬歯部について、転位側では、上顎骨唇側歯槽部が前方へ傾斜するほど軟組織も前方へ傾斜することが明らかになった。歯軸が側方へ傾斜するほど軟組織も側方へ傾斜すること,上顎骨唇側歯槽部が側方へ傾斜するほど軟組織も側方へ傾斜することが明らかになった。転位側と非転位側では、前方と側方のいずれの方向についても、歯軸、上顎骨唇側歯槽部、軟組織の傾斜角度に有意の差が認められなかった。

本論文は上顎前歯部の歯槽形態と顔軟組織形態との関係を示したもので, 歯科矯正学分野における診断学および治療学の発展に貢献できると考えられ る.よって,審査委員は本論文を博士(歯学)の学位を授与するに値するも のと判断した.